

一般社団法人日本CFO協会2018年度事業報告書

自2018年4月1日 至2019年3月31日

1. 事業報告

当期は、日本企業の持続的成長を促す一連のコーポレートガバナンス改革の一環としてガバナンスコードの改訂があり、社外取締役の選任数の増加や、新しい機関設計導入、取締役会の実効性評価等外形的な面における改革が進められました。形式的な改革から、実施的な改革が求められる中で、旧来的な事業管理を中心とした経営から脱却し、より大きなリスクに向かって挑戦する新しい企業経営体制の構築が求められています。地球規模で起こっている大きな環境変化やビジネスモデルの変化、テクノロジーの変化による構造変化への対応も重要性を増している中、経営の羅針盤とも呼ばれるCFOこそが変化を先取りし、変化に挑む積極的な経営戦略を実践することに期待が寄せられていると言えるでしょう。

日本企業の変革を担う会員の皆様が変化を先取りし、変化に挑む積極的な経営戦略を実践し、より大きなリスクに向かって挑戦するリーダーシップを発揮することができますよう、当期も様々なサービスを会員の皆様にご提供させて頂きました。具体的な活動内容は以下の通りです。

(1) 教育・啓蒙活動

- ・ 会員に対する情報提供の場として開催しているCFOセミナーを、以下の通り計17回開催しました。

(開催日)	(セミナータイトル)
5月17日	31年振りの米国税法改正の日系多国籍企業に与えるインパクト
5月31日	「資金の見える化」から見える日本企業の経営課題
6月07日	米国医療保険の最新事情 ～コスト抑制・水準把握のためのポイント解説～
6月21日	史上最高益を出しながらも株価が下がり続ける楽天の国際会計基準
7月05日	3000億円の事業を生み出す ビジネスプロデュース
7月19日	AIでファイナンス部門はどう変わるか？
8月02日	財務部門のグローバル化への対応
8月31日	東アジアにおける企業財務環境の変化と今後の課題 ～フィンテック時代に応じた新たな体制構築と広がる市場への対応について～
9月06日	海外取引審査とリスク管理体制構築の要諦
9月20日	SAP、弥生等の会計システムを含む業務自動化の事例紹介と、 つまづいた時の処方箋
10月18日	連結キャッシュ・フロー計算書作成実務 ～連結会計システムの効果的な運用ポイント～
11月01日	新しい会計基準「収益認識基準」を知り、とるべき対応を知る！
11月15日	グローバル競争時代の事業ポートフォリオ再構築 ～なぜ今カーブアウトか～
1月31日	アジアを透明化する
2月07日	グローバル企業における税務ガバナンスの構築
2月21日	SWIFT gpi ～銀行送金はCoolじゃない?～

3月07日 これからの予算管理を考える
～進化するデジタルテクノロジーの効果的な活用を踏まえて～

- ・啓蒙活動の観点より会員の方以外にも対象を拡大し広くご案内を行ったイベントとして、当期も以下のイベントを開催しました。

5月30日 CFOオープンラボ
6月1日 グループ経営管理フォーラム
7月24日 CFO NIGHT!!2018
11月22日 デジタルファイナンス・フォーラム
12月12日 CFOフォーラム・ジャパン2018
12月12日 ベンチャーCFOフォーラム・ジャパン
2月27日 デジタルファイナンス・フォーラム
2月8日 CFO NIGHT!! in Osaka

- ・法人会員を対象に、CFO相当の役員に限定した朝食会「CFOラウンドテーブル」を4回開催しました。また、次世代のCFOを担う方々を対象とした勉強会「次世代CFO部会（Next CFO Society）」を5回開催しました。

CFOラウンドテーブル

4月24日 事業報告等と有価証券報告書の一体的開示に向けた取組について
9月6日 日本企業再生のための人財戦略と真の「働き方改革」
11月30日 フィンテックとこれからの金融
2月19日 変質するエンゲージメント

次世代CFO部会（Next CFO Society）

11月29日 今さら聞けないガバナンスの話－改訂の本質を理解する
12月11日 ガバナンスと経営戦略－事業推進力をどう高めるか
1月17日 ガバナンスとファイナンス－表裏一体の活動をどう進めるか
2月21日 ガバナンスと経営管理－新しい体制作りは急を要する
3月6日 より良い企業を目指していくために－ESG経営をどう進めるか

- ・2014年度に発足したテーマ別の部会「M&A部会」「グローバル財務部会」、「グループ与信管理部会」（旧グローバル取引先管理部会）、「デジタルテクノロジー部会」（旧AI・ロボティクス部会）および、個人会員限定の部会である「CFOリーダーシップ部会」を当期も継続して開催しました。

M&A部会（第4期）

10月17日 ビジョン2020 日本電産の経営戦略とCFO機能の役割
1月23日 M&Aを活用した事業ポートフォリオ改革～多角化から多様化へ
2月13日 財務マネジメント・サーベイ「M&Aにおけるシナジーの発現に向けて」
調査結果の分析に基づいた意見交換
3月13日 当社のM&A－ファイアストーン買収。その根源的なもの
3月18日 日清食品HDのM&A戦略

グローバル財務部会（第4期）

- 9月25日 為替管理におけるKPIとは
～BIツールを活用した財務マネジメント分析/報告の高度化
- 10月12日 戦略的な銀行リレーション構築について
～Proactive Relationship Management～
- 12月14日 「可視化の先にある取り組み」～TMS導入実態や導入後の効果
- 2月8日 決済の高度化と流動性管理

グローバル与信管理部会（第3期）

- 9月28日 取引審査1 事例研究
- 11月28日 取引審査2 契約書ひな型、担保・保全
- 1月24日 取引先審査1 格付制度
- 3月12日 取引先審査2 財務諸表以外の情報でのスコアリング

デジタルテクノロジー部会（第2期）

- 9月4日 データ（会計情報）を“集める”という視点
- 10月16日 データ（会計情報）を“使う”という視点（その1）
- 12月5日 データ（会計情報）を“使う”という視点（その2）
- 1月30日 企業の情報の基盤となる会計情報システム
- 2月20日 デジタルテクノロジーによる働き方改革（組織と人材の変革）

CFOリーダーシップ部会

- 5月16日 経理業務の標準化・効率化に向けたRPA（ロボティクス）の展開
- 6月20日 企業変革へのリーダーシップと企業価値創造
- 7月18日 日本社会にいま大切なことは何か
- 9月25日 起業（企業）のリスクマネジメント／人生6毛作
- 10月17日 「安定基盤」を壊し続けた30年
- 11月21日 持続的企業価値増大をもたらす企業戦略の考察
- 12月19日 「個人の時代」に求められる「CFOの影響力」の育て方
- 3月20日 日本電産の企業変革とCFO機能の役割

- ・中部地区の活動としてPwCあらかた監査法人との共催にて実施している中部地区「経理役員・部長懇話会」を2回実施しました。

- 9月3日 持続的企業価値増大をもたらす企業戦略の考察 ～長期投資家の視座～
- 3月19日 デジタル時代の会計・財務の果たすべき役割
～国際競争力強化に向けた本社機能の大改革～

- ・関西地区の会員の会合として、「関西地区友の会」を3回開催しました。

- 5月25日 会社の未来に、どう貢献していくか
- 8月24日 経営改善をリードする管理部門であり続けるために
- 11月8日 新しい会計基準「収益認識基準」を知り、とるべき対応を知る！

- ・明治大学国際総合研究所（MIGA）と東京大学公共政策大学院が開催する「コーポレートガバナンス研究会」に協力しました。

- ・昨年度に続いて、当期もSMBCコンサルティング株式会社と共催で、次世代のビジネスリーダ

一育成を目的とした課題解決型ビジネススクール「CFOラボ」の第一期を開講（全8回）しました。

- ・ベンチャーCFO育成講座を、当年度の第三期より多摩大学への寄付講座として2018年10月より実施の第二期（全6回）を開催しました。
- ・個別テーマについての専門性向上を狙いとした実務研修講座を当期も開催しました。

RPA（ロボティクス）体験&トレーニング講座

RPA（ロボティクス）体験&トレーニング講座「ステップアップ編」

初心者のための「連結決算基礎講座」

収益認識に関する会計基準と会計・税務実務への影響を学ぶ

細野祐二会計アカデミー

- ・昨年度より協力を行っているリードエグジジションジャパン株式会社が主催する「会計・財務EXPO」に当期も協力を行い東京（7月11日から3日間）、大阪（11月7日から3日間）、名古屋（2月13日から3日間）で展示会を行いました。
- ・オンライン情報誌「CFOFORUM」を毎月発行しました。

（2）資格・検定活動

- ・一般社団法人金融財政事情研究会と共同で実施しているプロフェッショナルCFO資格試験の受験者数は609人と前期比209人の増加となり、受験者は累計1,469人になりました。
- ・経済産業省経理・財務人材育成事業経理・財務スキル検定（FASS検定）の受験者数は5,154人と前期比19人の増加となり、受験者は累計58,471人になりました。
- ・専門性の高い実務領域のスキルを可視化するための施策として昨年度導入致しました「連結決算実務検定の受験者は54人と前期比13名の減少となり、受験者数は累計で192人になりました。
- ・当期末時点における資格認定者数は、ジェネラルCFOが416人、グローバルCFOが296人、プロフェッショナルCFOが294人、スタンダードCFOが324人となり、CFO資格認定者は合計で1,330人となりました。

（3）調査・研究活動

- ・経営・財務分野のさまざまなベンチマーク情報を提供する目的で「財務マネジメント・サーベイ」を以下のテーマにて6回実施しました。

第67回 請求書の電子化に関する調査

第68回 RPA（Robotics Process Automation）に関する実態調査

第69回 グループ経営の未来におけるCFOの役割

第70回 M&Aにおけるシナジーの発現にむけて

第71回 デジタルトランスフォーメーションと経営管理の高度化

(4) 会員数

- ・ 個人会員の新規入会者数282人、法人会員の新規入会社数27社で、当期末の会員数は個人会員が1,928人、法人会員は225社となりました。

(5) 損益の状況

- ・ 売上高は125,834千円と前期比3,966千円増加しました。
会員事業につきましては、入会金収入は7,370千円と前期比3,002千円の増加、会費収入は65,314千円と前期比1,685千円増加しました。検定事業につきましては、受験料収入は43,122千円と前期比4,245千円増加しました。
- ・ 費用につきましては、111,168千円と前期比2,125千円減少しました。
- ・ 営業利益は14,667千円と前期比6,092千円増加しました。当期純利益は15,132千円と前期比で5,817千円の増益となりました。

2. 2019年度の活動

(1) 活動計画

2019年度におきましても、より一層の会員サービスの充実を目的として、資格認定、教育、調査研究、コミュニケーションそれぞれの事業分野において、引き続き従来の活動を継続して質の向上に努めていきます。特に、海外の経理・財務分野において関心が高まっている管理会計領域の実務スキル向上を目指した取り組みを中心に、より付加価値が高いクリエイティブな仕事へと会員の皆様が取り組んでいけますよう活動を充実させていく予定です。

(2) 事業予算

2019年度は、入会金収入11,970千円、会費収入70,990千円、受験料収入52,000千円を予定しており、売上高は142,064千円、また税引前利益は14,554千円を予定しています。

以 上